

【単年度事業評価様式】

栄区地域子育て支援拠点事業
平成 29 年度重点目標評価結果・次年度重点目標

事業実施期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日(8年度目/10か年度)
事業の実施者	社会福祉法人地域サポート虹 栄区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを産み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 栄区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることのできる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること (横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

1 平成29年度重点目標の評価

<p>平成29年度 重点目標①</p>	<p>養育者が子育てを楽しみ、主体となって力を発揮できる取組を実施します。</p>																																
<p>取組内容</p>	<p>【養育者】</p> <p>①年齢別交流プログラム aー0ちゃんベビー集まれ!! bー1オチビちゃん集合! cー集まれ!にこりんキッズを通して養育者同士の繋がりを更に深め、養育者同士が支え合い主体となって活動できるようスタッフが継続して働きかけ活動に結びつけていく。</p> <p>②当事者同士の交流プログラムでは妊娠期からの支援として、aーマタニティさん集まれ bーパパママ一緒にふれあい遊び(拠点来館親子と交流)を実施。産まれる前から乳幼児と触れ合う機会を設け、養育者が出産後のイメージができ安心して出産を迎えられるよう働きかける。</p> <p>③父親交流として、年間を通して定期的に aーパパたち集まれ! bー抱っこパパ隊 cーパパママ一緒に運動あそび dーステーションまつりを実施し、父親同士の繋がりをづくり、子育てを楽しめるような働きかけを行う。</p> <p>【地域との連携】</p> <p>①子育て支援団体連絡会のネットワークを活かし、互いの利用者を身近な地域の活動の場へ繋ぐ。</p>																																
<p>取組の成果</p>	<p>【養育者】</p> <p>①年齢別交流プログラム</p> <p>[a0ちゃんベビー集まれ!!]</p> <table border="1" data-bbox="316 969 635 1016"> <tr> <td>11回</td> <td>374組</td> <td>709名</td> </tr> </table> <p>[b1オチビちゃん集合!]</p> <table border="1" data-bbox="316 1070 635 1117"> <tr> <td>11回</td> <td>216組</td> <td>435名</td> </tr> </table> <p>[c集まれ!にこりんキッズ]</p> <table border="1" data-bbox="316 1171 635 1218"> <tr> <td>11回</td> <td>86組</td> <td>187名</td> </tr> </table> <p>同年齢の子供を持つ母親同士交流を行った。子どもを連れながらも特技を活かした活動ができる場を年間を通し提供した(絵本の読み聞かせ、ピアノ演奏等)。様々なプログラムを通して養育者同士の繋がりを深めることができ、養育者が中心となる活動も増えた。</p> <p>②当事者同士のプログラム</p> <p>[a マタニティさん集まれ(妊娠期の母親の集まり)]</p> <table border="1" data-bbox="316 1458 475 1505"> <tr> <td>2回</td> <td>4名</td> </tr> </table> <p>[b パパママ一緒にふれあい遊び(異年齢親子のふれあい遊び)]</p> <table border="1" data-bbox="316 1559 1038 1606"> <tr> <td>4回</td> <td>53組</td> <td>127名</td> <td>父17名</td> <td>プレママパパ参加なし</td> </tr> </table> <p>妊婦同士、拠点親子との交流を行った。当事者同士、出産の喜びや不安を共有し不安解消に繋がった。拠点親子との交流では、先輩ママの話や、赤ちゃんと直接触れ合うことで、出産後のイメージができ、出産や子育てを前向きに捉えることができた。</p> <p>③父親交流</p> <p>[a パパたち集まれ!]</p> <table border="1" data-bbox="316 1845 927 2040"> <tr> <td>スタンプラリー</td> <td>5/20</td> <td>8組</td> <td>23名</td> </tr> <tr> <td>ダンボールハウス作り</td> <td>6/17</td> <td>10組</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>パパ講座</td> <td>7/15</td> <td>12組</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>記念手形作り</td> <td>3/17</td> <td>12組</td> <td>25名</td> </tr> </table>	11回	374組	709名	11回	216組	435名	11回	86組	187名	2回	4名	4回	53組	127名	父17名	プレママパパ参加なし	スタンプラリー	5/20	8組	23名	ダンボールハウス作り	6/17	10組	29名	パパ講座	7/15	12組	35名	記念手形作り	3/17	12組	25名
11回	374組	709名																															
11回	216組	435名																															
11回	86組	187名																															
2回	4名																																
4回	53組	127名	父17名	プレママパパ参加なし																													
スタンプラリー	5/20	8組	23名																														
ダンボールハウス作り	6/17	10組	29名																														
パパ講座	7/15	12組	35名																														
記念手形作り	3/17	12組	25名																														

[b 抱っこパパ隊(コーラス)]

12回	54名
-----	-----

[b抱っこパパ隊(ステージ発表)]

ステーションまつり	9/2	5組
にこりんく虹のふれあいコンサート	12/3	7組
パパママ一緒にふれあい遊び	12/16	5組
豆まき	2/3	9組

父親から、「子どもを連れて気軽に活動を楽しむ機会が欲しい。父親も子育てに関わりたい(父子の交流を深めたい)」という声があがり、平成 29 年5月から抱っこパパ隊(コーラス)が始まる。父親が子どもを抱っこしながら様々なシーンで歌を発表する機会を設け、父親がやりがいを感じると共に、新たな父親の参加に繋がった。

[c パパママ一緒に運動あそび]

3回	28組	71名
----	-----	-----

スポーツインストラクターから身体を大きく動かす遊びを教えもらい、親子で遊ぶ楽しさを体験できた。

[dステーションまつり]

9/2	864名
-----	------

ステーションまつりの「玉入れゲームコーナー」の運営を、父親に協力してもらい。当日の打ち合わせでは、父親同士が子どもたちが楽しめるよう、ゲームのルールを考えた。出店協力中、沢山の子どもと触れ合い、楽しく参加した。今後も何かイベントに関わっていきたいという声が上がリ、次回への活動意欲に繋がった。

[父親拠点利用数]

平成 28 年度	452名	平成 29 年度	703名
----------	------	----------	------

父親参加型プログラムを充実させたことで、新たな父親のプログラム参加や、土曜日の父親の拠点利用が増えた。

【地域との連携】

①子育て支援団体連絡会で「子育てつながるマップ」を作成。それぞれの活動内容を把握し、役割や機能を活かして、互いの利用者を繋ぐきっかけとなった。

※「子育てつながるマップ」とは

子育て支援団体連絡会に参加団体が、それぞれの活動、会場、連絡先等をまとめたファイルを作成。各団体が1つずつ所有。

取組の課題

【養育者】

- ①拠点内プログラムで養育者が中心となったプログラムが増えた。今後も引き続きより多くの養育者が企画・運営ができる機会を持てるよう継続して支援していく。
- ②妊娠期の支援については平成 29 年度、参加者が少なかったため、プログラムの開催時期、周知方法、PR の工夫(母子手帳交付時でのチラシ配架・産科のある病院との連携等)、区と協働で検討を行う。
- ③父親交流プログラムを充実させたことで、父親の来館が増えた。父親自身も子育てに関わりたいが、どうしてよいかわからない等の、声がかかれた。父親が子育てを楽しめるきっかけの場所となるよう、今後も引き続き、父親が拠点に集うきっかけとなるプログラムを年間通して実施していく。

【地域との連携】

- ①子育て支援団体連絡会の「子育てつながるマップ」は平成 30 年 3 月に完成したため、今後活用していく。内容の更新を随時行いながら、「子育てつながるマップ」を活用し、地域の関係機関団体が互いの強みを活かしながら協力し合える関係を築き、地域で養育者が子育てを楽しめるよう連携を深めていく。

<p>平成29年度 重点目標②</p>	<p>横浜子育てパートナー(利用者支援事業)を相談窓口として幅広く周知し、関係機関や関係者との繋がりを深めます。</p>
<p>取組内容</p>	<p>①横浜子育てパートナー(利用者支援事業)が子育て中の家庭や市民に認知されるよう引き続き周知を行う。 aー拠点ひろばスタッフと連携し相談業務を行う。 bー横浜子育てパートナー周知チラシの改定を行う。 cー拠点通信で継続的な周知を行う。(広報区版等も活用)</p> <p>②地域の子育て支援関係機関・団体に横浜子育てパートナー(利用者支援事業)が出向き関係者と顔が見える関係をつくる。(親と子のつどいの広場・サロンへの訪問等)</p>
<p>取組の成果</p>	<p>①aーひろばスタッフが受けた相談の内容に応じて、横浜子育てパートナーと連携をとることで、必要とされている情報の提供ができ、個別の相談にも繋がり、チーム全体で支援することができた。 bー1 拠点ひろば内に横浜子育てパートナーの似顔絵入りポスターを掲示したことで、利用者が気軽に相談できるようになった。昼・夕のつどいで子育て期の色々な悩みごと、困りごとについて必要な情報を調べ適切な支援機関を紹介できることを伝え、利用者から横浜子育てパートナーへの直接的な相談も増えた。 bー2 横浜子育てパートナー(利用者支援事業)と子育てサポートシステムが掲載された携帯できる名刺サイズのチラシを作成し、地域に1100部配布し周知した。(孫育て講座・区民まつりやにこりんく虹のふれあいコンサート等)拠点を知らなかった地域の方からの相談も少しずつ増え始めた。 cー拠点通信や、ホームページに毎月横浜子育てパートナー(利用者支援事業)の内容を掲載し、区内の子育て世帯に向け周知を行った。(毎月1500部)・栄区広報9月号に掲載。</p> <p>②地域の子育て支援関係機関・団体に横浜子育てパートナー(利用者支援事業)が出向き、事業を周知することで、関係者と顔が見える関係をつくることができた。親と子のつどいの広場については、相談のニーズも多いことから次年度は毎月、定期訪問を行っていく。</p>
<p>取組の課題</p>	<p>①地域に出向いて周知活動を行ってきたが、横浜子育てパートナー(利用者支援事業)には、専用の相談ダイヤルがあることを知らない区民も多くいた。周知がまだ十分ではないため、今後も引き続き地域に出向き周知活動を行う必要がある。(親と子のつどいの広場2ヶ所の定期訪問・サロンへの訪問等) 次年度は名刺サイズチラシを配布し多くの区民が横浜子育てパートナー(利用者支援)を活用できるよう働きかけていく。</p> <p>②地域の関係機関団体と顔が見える関係はできつつあるが、より充実した支援ができるよう、今後も引き続き外へ出向いての連携強化に努める。</p>
<p>平成29年度 重点目標③</p>	<p>「地域での支え合い活動」である子育てサポートシステムの意義を子育て家庭や市民に伝え、利用に繋がっていきます。</p>
<p>取組内容</p>	<p>地域で親子を見守る大人を増やし、子育てサポートシステム利用に繋げていくため養育者や地域に向けた働きかけを、ひろばスタッフと連携して行う。</p> <p>①提供会員を増やすための取り組み(幼稚園や小学校等への周知) ②利用者同士の支え合いの提案(子どもを預け合う時の子育てサポートシステムの活用の提案等) ③ひろば利用の養育者のニーズに合わせて子育てサポートシステムを紹介 ④利用者支援事業との連携等</p>

取組の成果	【拠点入会説明会】			
	入会説明会	23回	68名	
	個別入会説明会	14回	16名	
	【平成29年度 新規登録者・活動件数】			
	利用会員	75名		
	提供会員	5名		
	両方会員	2名		
	コーディネーター件数	51件		
	活動件数	614件		
	【出張入会説明会】			
豊田地区センター	1回	4名	入会希望者が身近な地域で説明を受けることができ、利用登録に繋がった。各地域で入会説明会を行う為、出張説明会チラシを回覧板にて周知。子育てサポートシステムの周知に繋がった。	
おやこの駅ひろば	1回	2名		
小菅ヶ谷地域ケアプラザ	1回	3名		
千秀センター	1回	4名		
名刺サイズチラシ配布				
次世代交流ステーションまつり	260部		手に取りやすい名刺サイズチラシを作成。区民が集まる場で配布。チラシを見た方の利用登録に繋がった。	
さかえ区民まつり	50部			
にこりんく虹のふれあいコンサート	300部			
<p>①提供会員を増やす為、提供会員募集チラシを作成(1,500部)し、栄区全域に回覧板にて周知を行い、子育て経験のある40代、50代の提供・両方会員登録に繋がった。子育てサポートシステム周知を掲載した拠点通信を栄区内の幼稚園に配付。子育て中の両方会員登録に繋がった。</p> <p>②養育者同士がお互いに子どもを預かる時に、子育てサポートシステムを利用する事で気兼ねなく安心して子どもを預け合える仕組み(保険有等)を拠点ひろばにて、パネルを使って分かりやすく周知し支え合う仕組みの推進を行った。</p> <p>③拠点業務にてひろば養育者から子どもの預け先や、保育園送迎の不安など相談があった場合、必要に応じて子育てサポートシステムを紹介。具体的なサポート案を提案する事により、利用登録に繋がった。</p> <p>④子育てサポートシステムでは対応できない病児保育や家事支援など相談があった場合は、横浜子育てパートナー(利用者支援事業)と連携を取り、相談に合った情報提供を行った。</p>				
取組の課題	広報や出張説明会等で、子育てサポートシステムの周知に努めたが、提供会員の確保が難しかったため、次年度は提供会員の少ない地域での出張説明会を積極的に実施し提供会員の確保に努める。更に会員を増やす為、名刺サイズチラシを栄区の関係機関・団体・小学校等に配付し、多くの区民が子育てサポートシステムを知り、活用できるよう働きかけていく。			

2 次年度重点目標

平成30年度 重点目標①	栄区で、子育て世帯をあたたく見守る地域力の創出を目指し、更に地域とのネットワークを深めていきます。
取組内容	<p>①子育てサポートシステム事業の周知を通して、地域との連携を深め地域ぐるみでの子育て支援を目指します。(関係機関・団体、地域ケアプラザ、親と子のつどいの広場、幼稚園、小学校等)</p> <p>②横浜子育てパートナー(利用者支援事業)が地域に出向く事で、関係機関・団体との繋がりを深めます。(親と子のつどいの広場・地域のサロン・子育て支援者会場等)</p> <p>③子育て支援団体連絡会を通して、地域の関係機関団体が互いの強みを活かしながら協力し合える関係づくりを行っていく。平成29年度作成した、「子育てつながるマップ」を活用。</p>

	<p>※子育て支援団体連絡会とは 拠点が事務局となり、地域で子育てに関わる人・関係機関が顔の見える関係作りを目的とし、お互いの活動状況を共有することで区内の子育て支援の充実を目指す。(平成 29 年度 50 団体登録)</p> <p>④さかえっ子の笑顔ひろげ隊の活動の充実を図ります。</p> <p>※さかえっ子の笑顔ひろげ隊とは 栄区セーフコミュニティ児童虐待予防対策分科会の活動。 地域に向けて、「子育て世帯を温かく見守る地域づくり」の啓発を実施。 <・地域での見守り・困った時の相談先の周知・次世代に向けた子どもと接する体験の提供 (赤ちゃんふれあい体験・命の授業等)></p> <p>⑤aー栄区セーフコミュニティ児童虐待予防対策分科会 bーセーフコミュニティこども安全対策分科会へ参加し、地域の関係機関とのネットワークを推進します。</p> <p>※栄区セーフコミュニティとは 事故やけがの原因をデータを使って究明し、地域ぐるみで予防活動を展開する、安全・安心なまちづくりを行っているコミュニティに与えられる国際認証。栄区は平成 25 年に取得。</p>
<p>平成 30 年度 重点目標②</p>	<p>区・市と共に拠点事業 2 期目を振り返り、今後の拠点事業のあり方を検討し、区民にとってよりよい拠点づくりを目指します。</p>
<p>取組内容</p>	<p>拠点事業 2 期目を振り返ることで、成果やこれからの課題を区・市と共に共有します。</p> <p>aー平成 29 年度 利用者アンケート結果を、区こども家庭支援課と共に分析し、今後の事業に反映します。</p> <p>bー区内の子育て支援に関わる方々に、拠点との連携についてアンケートを実施し、事業運営に活かします。</p>